

## 白井大師 第7番 富塚・大下太子堂

1 名称 (No.007) 〔大11：太子堂〕〔昭63：大下〕〔平08：太子堂〕〔平17：大下太子堂〕

2 場所 白井市富塚1193 大下(おおしも)太子堂  
中下釈迦堂から道程約980m

GPS座標 35.817281005251864, 140.0397084823111

3 由緒

江戸時代の天明期、大洪水、大出水が富塚村を襲った。利根川の側の土手が決壊したため、木造の太子像流れ着いた。元の像の所在地に届けたが、また洪水がおき、川に浮き沈みしている太子像を救い上げ、富塚の木下に太子堂を建て祀ったと伝えられている。(「白井第二小学校区宝物マップ<富塚>」より)

4 御堂 大師堂の中に丸彫の御大師様が1体あり。御堂の台には大下番外掛所と御詠歌のプレートが埋め込まれている。

5 境内 立派な太子堂がある。

6 写真 (2023.11撮影)



大師堂



御大師様



東寺 弘法大師 御詠歌



太子堂



太子堂



太子堂と大師堂

7 情報

(1) 四国八十八ヶ所 第7番 十楽寺 御詠歌

人間の 八苦を早く 離れなば 到らん方は 九品十楽

高野山真言宗 光明山(こうみょうざん) 蓮華院 十楽寺(じゅうらくじ)

本尊 阿弥陀如来 徳島県阿波市

(2) 東寺 弘法大師 御詠歌

空海の心の内に咲く花は 弥陀より他に知る人ぞ無き

(3) 奉納句額 (2013.11.15広報しろい「歴史のしずく」)

大下太子堂(富塚)にある奉納句額には、小林一茶などに師事し、句集「憑蔭集」(たのむかけしゅう)を著した大穴村(現船橋市)の齊藤その女が句会の催主として名を連ねています。